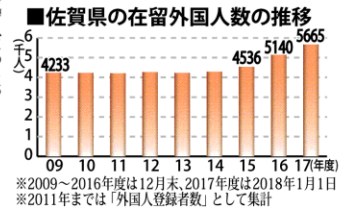




*基本シートの「統計・グラフ整理ノート」をもとに作成しました。

在留外国人最多5665人 17年度県内、1割増 国籍別はベトナム1位



佐賀県の2017年度の在留外国人数は前年度比10・2%増の5665人となり、最多を更新した。労働力不足や日本語教室の定員増を背景に4年連続で増え、特に技能実習の増加が目立っている。国籍別ではベトナムが中国に代わり最も多くなった。

■24面に関連記事
県国際課が、18年1月1日時点の人数を17年度分としてまとめた。初めて5千人を超えた前年度(5140人)に比べて525人増えた。市町別では、最多は佐賀市で1633人(前年度比104人増)で、次いで鳥栖市1058人(128人増)、唐津市658人(64人増)、伊万里市565人(27人増)。最も少ないのは玄海町の3人(1人減)だった。

国籍別で見ると、最も多いベトナムが1295人(317人増)。中国は1235人(41人減)で、韓国または朝鮮が721人、フィリピン625人、インドネシア511人の順になっている。割合ではベトナム23%、中国22%、韓国または朝鮮13%。

在留資格別で最も多いのは技能実習で、2101人(前年度比238人増)に上る。うち約1千人がベトナム人で約半数を占めた。留学は871人(127人増)、特別永住者は482人(19人減)だった。

県国際課は「県内の労働力不足や日本語学校の定員増が増加の大きな要因と考えられる」と分析する。その上で「外国人が増えることで、生活に必要な情報や災害時の連絡などが課題になってくる。市町やボランティア団体と連携し、日本人、外国人の区別なく暮らしやすい県になるように取り組みを進めたい」と話している。(山口貴由)

県国際課が、18年1月1日時点の人数を17年度分としてまとめた。初めて5千人を超えた前年度(5140人)に比べて525人増えた。市町別では、最多は佐賀市で1633人(前年度比104人増)で、次いで鳥栖市1058人(128人増)、唐津市658人(64人増)、伊万里市565人(27人増)。最も少ないのは玄海町の3人(1人減)だった。

国籍別で見ると、最も多いベトナムが1295人(317人増)。中国は1235人(41人減)で、韓国または朝鮮が721人、フィリピン625人、インドネシア511人の順になっている。割合ではベトナム23%、中国22%、韓国または朝鮮13%。

在留資格別で最も多いのは技能実習で、2101人(前年度比238人増)に上る。うち約1千人がベトナム人で約半数を占めた。留学は871人(127人増)、特別永住者は482人(19人減)だった。

県国際課は「県内の労働力不足や日本語学校の定員増が増加の大きな要因と考えられる」と分析する。その上で「外国人が増えることで、生活に必要な情報や災害時の連絡などが課題になってくる。市町やボランティア団体と連携し、日本人、外国人の区別なく暮らしやすい県になるように取り組みを進めたい」と話している。(山口貴由)

◎グラフから読み取ろう

○グラフ名 「

○このグラフは、

を示したものだ。

(佐賀新聞 2018.4.12 付)

○数値をみると

は、

年から

年にかけて

となっている(推移している)。

特徴的な傾向としては

があげられる。

◎記事から読み取ろう

○市町別では、多い順に 1 2 3

2 3 4 5 である。

○国籍別では、多い順に 1 2 3 4 5

2 3 4 である。

○資格別では、多い順に 1 2 3

3 である。

○このように推移しているのは、県国際課によると

と考えられる。

また、課題としては

があげられる。

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

○「このような現状から、どのようなことが大切だと考えますか。」